

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
黒澤 祐介			
木2、木3			
添付ファイル			

科目の概要	社会福祉とは、広く人びとの幸せな社会生活を支援する考え方や具体的な方法、およびそれらを実現するさまざまな施策の総称である。本科目では、社会福祉の歴史や理念、法制度を学ぶことにより、社会福祉の実現にむけた担い手としての理解を深めることを目的とする。実践で求められる諸領域（児童福祉・障害者福祉・高齢者福祉など）の基礎的知識を学び、育士に必要な力を養うことを目指す。
授業の内容	<p>第1回 社会福祉の理念と歴史の変遷 専門職として社会福祉にかかわるという将来像を見据え、多様な価値や視点がある社会福祉の概念、理念と歴史の変遷を理解し、現代的課題を知る。 教科書p. 2-p. 121を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第2回 子ども家庭支援と社会福祉 なぜ今、子ども家庭支援が必要なのかを、子どもの最善の利益から理解し、保育所等の児童福祉施設や地域の子育て家庭への支援活動について知る。 教科書p. 14-p. 24を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第3回 社会福祉の制度と法体系 社会福祉における法律と制度の体系と種類を理解し、具体的内容と法制度の活用方法について知る。 教科書p. 26-p. 36を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第4回 社会福祉行財政と実施機関、社会福祉施設等 社会福祉行政の体制と福祉の財政について理解し、各種相談所と福祉サービスの費用負担の方法について知る。 教科書p. 38-p. 52を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第5回 社会福祉の専門職 社会福祉の専門職の条件と専門性の構造、資格の種類について理解し、地域における多職種および地域住民との連携・協働について知る。 教科書p. 54-p. 64を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第6回 社会保障および関連制度の概要 日本の社会保障制度の概要をと役割を理解し、新しい社会的リスクへの対応を知る。 教科書p. 66-p. 76を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第7回 相談援助の理論 相談援助理論の体系と発展を理解し、保育所等児童福祉施設における相談援助について知る。 教科書p. 78-p. 88を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第8回 相談援助の意義と機能 相談援助の意義と機能、原則について理解し、ストレングスやエンパワメントの視点、バイステックの7原則について知る。 教科書p. 90-p. 99までを読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第9回 相談援助の対象と過程 相談援助の対象者としての児童、保護者、地域を理解し、相談援助のプロセスについて知る。 教科書p. 102-p. 112までを読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第10回 相談援助の方法と技術 保育現場における相談援助の方法、技術を理解し、基盤となるモデルや環境・社会資源にはたらかかせる方法、技術をを知る。 教科書p. 114-p. 124までを読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第11回 社会福祉における利用者の保護にかかわるしくみ 利用者の権利擁護と苦情解決について理解し、成年後見制度や第三者評価について知り、保育所における苦情対応について学ぶ。 教科書p. 128-p. 138までを読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第12回 少子高齢化社会における子育て支援 人口動態と少子化の現状と要因について理解し、少子化対策の課題と保育について知る。 教科書p. 140-p. 149までを読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第13回 共生社会の実現と障害者施策 障害者福祉について、障がいのとらえ方や障害者の現状について理解し、共生社会の実現にむけて保育士の役割を知る。 教科書p. 152-p. 162までを読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第14回 在宅福祉・地域福祉の推進 地域社会の福祉課題に対して、公私の社会福祉関係者と協力して解決を目指す地域福祉の考え方を学ぶとともに、その実現にむけた法制度や方法を理解する。 教科書p. 164-p. 174までを読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第15回 諸外国の社会福祉の動向 福祉国家の類型と福祉レジームの3類型について理解し、諸外国の社会福祉の歴史の動向と、新しい社会リスクに対する各国の対応を知る。 教科書p. 176-p. 185までを読み、専門用語の意味を調べておくこと。 定期試験</p>

学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の歴史や理念、法制度を理解する。 ・社会福祉の担い手としての知識や技術を体得する。 ・保育士に必要な諸領域の基礎的知識を身につける。 <p>以上のことを通して、社会福祉にかかわる保育専門職としての価値・知識・技術を習得する。</p>
授業の方法	授業は講義形式により行う。テーマによっては、グループワークと発表を行う。
成績評価の方法	小課題・授業内レポート（20%）、定期試験（80%）で評価する。
教科書・テキスト	公益財団法人児童育成協会監修、松原康雄・坪洋一・金子充編（2019）『新・基本保育シリーズ④社会福祉』中央法規出版
参考書	特に指定しない
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	社会福祉に関するニュースなどに関心を持ち、毎回講義の初めに前回講義の内容に関する小レポートを行うので、復習をしておくこと。
履修上の留意事項	主体的な姿勢での受講を望みます。
オフィスアワー	火曜日 3 時限目
担当教員への連絡方法	y-kurosawa@osaka-aoyama.ac.jp
その他	